

● 自家用車通勤で驚いた

昨年春に脚を怪我した。10日間程の入院と自宅療養、その後の約1ヶ月半の松葉杖通勤を経て、約1ヶ月の自家用車通勤を経験した。その時驚いた事が二点。

先ず一点目は自転車。昨今は自転車通勤がブームのようである。とくに東日本大震災以後は目立ってきているようだが、震災前の昨年も思っていた以上に自転車通勤らしい光景を車中から見かけた。しかし、これがすごいことになっている。道路を縦横無尽に走る自転車が多いのである。当然、その様な走り方をするのは全体から見れば少数派と思うが、目立っているのは確かである。先ず、車道の中央を走る。その多くはスポーツタイプの自転車である（スピードが出るためバイクと勘違いしているのか？）。信号待ちの自動車を縫うように走る自転車もいるし、道路のセンターライン付近を我が物顔で走る者もいる。なかでも一番の驚いたのは、車両の右折レーンから右折するかと思われた自転車が、直行している道路の対向車線（信号待ちの車列間）に正面から進入していった時である。信号待ちしているドライバーは、正面から突っ込んでくる自転車に相当驚いたと思われる。ここまでくると重大事故が頻発する前に厳しい指導等が必要ではないかと思う。

二点目は通勤時間。通常時の通勤ルートは、自宅から徒歩で最寄りの駅まで行き、地下鉄を2路線（合計13駅）乗り継いで降車後に徒歩で会社まで行く。ドア・トゥ・ドアの時間は朝が約55分、夜が約50分である。これが自家用車だと朝が約40分、夜は30分強である。下町の自宅から都心部を抜けて会社まで行く通勤ルート（片道約13km）は全て一般道であり、殆どは幹線道路を通行し抜け道的な道路は一切通行しない。それでも鉄道より早く、雨には濡れず、暑い寒いもないとなれば使いたくなるのが心情だと思う。したがって、現在の自家用車通勤者はこの恩恵を受けている可能性が高いので、公共交通通勤者へ転換させるのは簡単ではないだろう。因みに弊社は原則自家用車通勤が禁止されているため、この快適な期間は約1ヶ月で終わってしまった。

野澤雅一（第一計画部）

● ママコンサルタントの道

わが社には、子供を抱える女性コンサルタント（ママコンサル）が2名在籍しております。短時間勤務を認められ、育児と両立しながら仕事を続けています。この業界、特に海外コンサル業界には、ママコンサルはまだ少数派です。若手女性が増える一方でママコンサルがあまり増えていないのは、やはり育児と仕事の両立が難しいがために、出産を機にやめてしまう女性が多いのだと思います。女性に限らず家族と仕事の両立の問題から、この業界を離れる男性も少なくありません。

業界団体からは、ママコンサルを支援しようという動きもありましたが、賛否両論あるなかでは、動き出すのが難しいのが実態のようです。一方で、最近会社訪問に来た学生からは、男女問わず仕事を続けていく上での私生活について、家庭との両立といったことに関する質問を受ける事が多くなりました。優秀な人材を確保していくためには、会社として、業界として、ワークライフバランスのあり方、持続可能な働き方を提示することが求められているのではないのでしょうか。

ママコンサルを会社の重荷と捉えるのではなく、多様な働き方を認め、新たな戦力として活用すること、そして我々ママコンサルがそれに応えていくことでより魅力的な会社に、業界になることができると思う次第です。

最後に、私的事情で恐縮ですが、出産のため今月より2度目の休暇に入ります。復職後は、ママコンサルだからこそその活躍の道を見つけていきたいと考えております。

金子素子（海外室）

発行責任者：代表取締役 庄山 高司
事務局：株式会社アルメック 業務部
東京都目黒区青葉台 1-19-14
電話 03-5489-3211・FAX 03-5489-3210
Eメール hotnews@almec.co.jp
ホームページ <http://www.almec.co.jp/>